

2014年度 夏季研修会 報告



7月24日(木) 14時～ 大阪市立住まい情報センター ホール

今年度の夏季研修会は、関西国際大学の中尾繁樹先生に、「みんなの特別支援教育 ～授業のユニバーサルデザイン化をめざして～」というテーマでご講演いただきました。会場いっぱいの220名の方の参加がありました。参加申し込みを開始するやいなや多くの申し込みが殺到するなど、ご講演の内容は、まさに現場のニーズに直結するものでした。従来の大支援研の取り組みと比べて、小中学校からの参加者の比率が高く、支援学校からの参加者が少なかったことなど、学校現場のニーズを如実にしめしていたと思います。

ご講演の中身は、幅広く多岐にわたり、具体的な事例も多く、参加者の「もっと聞きたい」という声が多かったのもうなずけます。笑いあり、動きありの2時間、集中が途切れないものでした。

主な内容を記します。

- ・「ユニバーサルデザイン」というのは筑波大学・関西学院大学を中心に研究が始まったが、実際の学校現場で、大学での研究を真似することは、少し違う。
- ・ユニバーサルデザインとは「どの子にでもわかる授業」を表している。
- ・特別支援教育は、いじめ・不登校を防ぐための予防の教育である。
- ・自分自身のことについて、子ども達はわかっていない → 教師はもっとわからないはず。子どもを見る視点は100個くらいある。
- ・子どもたちの姿勢や運動量の課題 (例) 座り方がおかしい、骨盤をのばす力がない
- ・「ことばと子どもの多様性を理解する」
- ・インクルージョンとは? 障がいのない子が障がいのある子を理解する教育
- ・なぜ秋田・シンガポール・小野市の学力が高いのか。
 - ・教師の授業に対する研究の食欲さ
 - ・幼・小・中・高の連携
 - ・早期からの特別支援教育についての意識改革と体制づくり 等々
- ・「学校で出来ること」と「家族で出来ること」が違う
- ・教師が大切にしないといけないこと
 - 校長のリーダーシップ 教員の意識改革 アセスメントと教員の努力
 - 研修を楽しむ 子どもの変化を実感する 続けること 困った時の「救急車」
- ・専門性も大事だが、臨機応変に対応することも大事
 - ・どんな授業形態をしないといけないか。→ざわざわしているところで授業をしてはいけない
 - ラーニングピラミッドがあって、教えあう仕組みをとったら良い。
 - ・子どもたちに目覚めの時間をどう与えるか (覚醒状態にする)

また機会あれば、中尾先生のような話をお聞かせいただきたいと思います。ほんとうに感謝の気持ちいっぱいの講演会でした。参加された方のアンケート集約したものを別途まとめていますのでご覧ください。

今回、多くの方から参加申し込みがあり、定員いっぱいとなりました。一方、参加申し込みの方法などで、申し込みされた方に分かりにくい状況などがあり、多くの方にご心配・ご迷惑をおかけしました。詳しくは、別途アンケート集約の報告文の中で記載しております。今回の皆様のご意見などをもとに、今後の研修会の運営及び申し込みについて検討し、より良い形のものを目指そうにします。